

久慈市提案型の主な事業例

1 地域資源を生かした産業の活性化



- ・地産地消ふれあい給食事業
- ・日本一の白樺美林宣言及び白樺樹液活用事業
- ・山形村短角牛消費・販路拡大事業

2 子育て環境の整備の推進



- ・「芝そりゲレンデ」子育て応援プロジェクト
- ・子育て支援センター環境整備
- ・図書館子育て応援事業

3 「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成



- ・中高生海外派遣事業
- ・地域人材等の学校外の教育資源の活用
- ・体育活動推進事業

4 誰もが集える場所づくり



- ・街なか拠点整備魅力発信事業
- ・空き店舗出店費補助金
- ・商店街各種イベント事業補助

5 スポーツコンベンションの推進



- ・あまちゃんマラソン大会負担金
- ・三船十段杯争奪柔道大会経費
- ・久慈を元気にする3×3バスケットコート整備事業

6 観光客の受入態勢及び情報発信力の強化



- ・ロケツーリズム推進事業
- ・久慈秋まつり手作り山車補助金
- ・久慈駅前いつくし広場賑わいづくりプロジェクト

7 地域文化の伝承と多様な人材の活躍の場づくり



- ・文化財デジタルアーカイブリニューアル事業
- ・文化会館空調設備等改修事業
- ・文化会館自主事業吹奏楽クリニック

8 再生可能エネルギーの整備や環境の保全・形成



- ・LED防犯灯設置、維持管理経費
- ・熱電供給システム導入事業
- ・自家消費型再エネ発電システム導入促進事業費補助金

「企業版ふるさと納税」はじめました。

子どもたちに誇れる 笑顔日本一のまち

久慈市

メリット
その1

税額控除（企業の実質負担は約1割）

企業版ふるさと納税は、久慈市が取り組む地方創成事業に対し、企業の皆さまが寄付した場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度です。最大で寄付額の約9割が軽減されます。

損金算入（国税+地方税）

約3割

税額控除（法人住民税+法人税+法人事業税）

約6割

企業負担

約1割

メリット
その2

社会貢献活動による企業 PR

SDGsの推進など、社会貢献活動を通じた、企業 PR・新たなパートナーシップの構築が期待されます。寄付いただいた取組は、久慈市のホームページや広報紙等に掲載し、紹介させていただきます。

問い合わせ・寄付の申し込み先

久慈市 総合政策部 政策推進課 ☎ 0194-52-2115 ✉ seisaku@city.kuji.iwate.jp



洋上風力発電を推進

久慈市沖は、国土交通省・経済産業省が選定する、洋上風力発電の導入の「準備区域」に県内初選定されました。市では、洋上風力発電実現に向け、浮体式洋上風力発電導入の可能性がある海域を示す「ゾーニングマップ」を作成し、採算性や二酸化炭素排出削減効果を検証。令和12年の運用開始を目指しています。



日本一の白樺美林の再生

久慈市山形町の平庭高原は、約31万本の白樺が群生し、県立自然公園に指定されています。観光活用のみならず、樹木や樹液の産業利用も進んでいますが、老木が大半を占め、存続が危ぶまれています。市では、白樺美林を守るため、管理プランを策定し、計画的な伐採・植樹などを行っています。



環境対策と 産業振興の融合

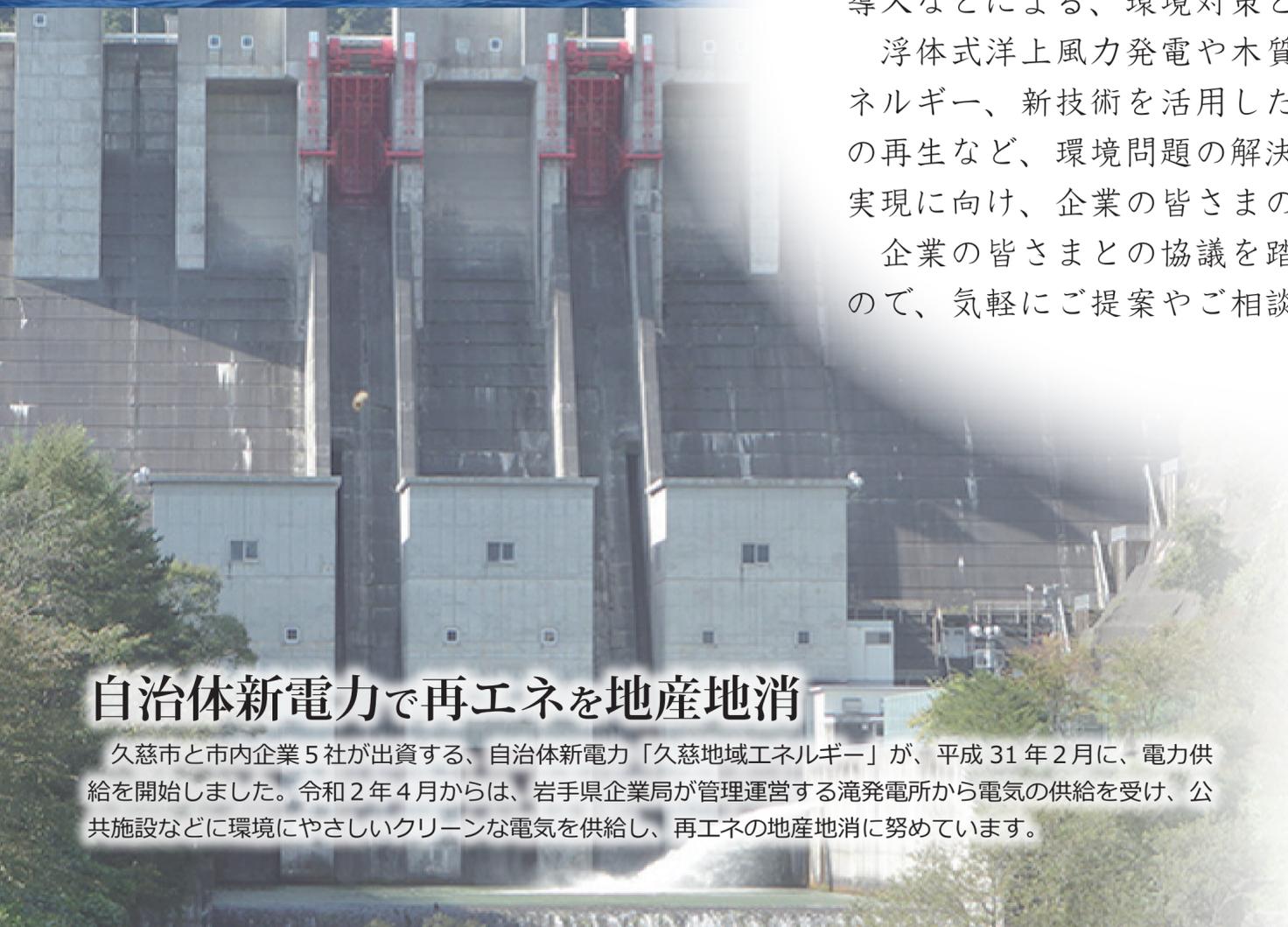
久慈市は自治体や企業との連携、再生可能エネルギーの導入などによる、環境対策と産業振興に力を入れています。

浮体式洋上風力発電や木質バイオマスなどの再生可能エネルギー、新技術を活用した二酸化炭素排出削減、白樺林の再生など、環境問題の解決と産業振興を合わせた事業の実現に向け、企業の皆さまの支援をお待ちしています。

企業の皆さまとの協議を踏まえ、事業内容を決定しますので、気軽にご提案やご相談願います。

自治体新電力で再エネを地産地消

久慈市と市内企業5社が出資する、自治体新電力「久慈地域エネルギー」が、平成31年2月に、電力供給を開始しました。令和2年4月からは、岩手県企業局が管理運営する滝発電所から電気の供給を受け、公共施設などに環境にやさしいクリーンな電気を供給し、再エネの地産地消に努めています。



新技術を活用した再エネ・脱炭素

脱炭素社会構築に向け、平成31年2月に横浜市と再生エネルギー連携協定を締結。令和元年10月に、「再エネ100宣言 RE Action」へ参画、同年12月には2050年CO2ゼロを宣言しました。企業と協力し、木質バイオマスの熱利用や廃棄物由来のエタノール製造実証事業など、再エネ・脱炭素に取り組んでいます。

